

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 4 月 16 日 (2020.4.16)

【公開番号】特開 2019-32721 (P2019-32721A)

【公開日】平成 31 年 2 月 28 日 (2019.2.28)

【年通号数】公開・登録公報 2019-008

【出願番号】特願 2017-153749 (P2017-153749)

【国際特許分類】

G 0 8 G 1/0965 (2006.01)

【F I】

G 0 8 G 1/0965

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 6 日 (2020.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

車線を構成する第 1 の区間をあらわした第 1 の区間情報と、第 1 の区間の幅方向に隣接する車線を構成する第 2 の区間をあらわした第 2 の区間情報と、前記第 1 の区間と前記第 2 の区間の間で車線変更の可否を判定可能とする情報とを有する地図データを参照し、緊急車両の走行に影響する可能性がある影響車両を誘導するように制御する制御部を有する運転支援装置。

【請求項 2】

前記制御部は、前記車線変更の可否を判定可能とする情報に基づいて、前記緊急車両の走行に影響しない前記第 2 の区間を含む退避車線への車線変更が可能である場合に、前記影響車両を前記退避車線へ車線変更する請求項 1 記載の運転支援装置。

【請求項 3】

前記車線変更の可否を判定可能とする情報は、法的に規制されているために車線変更が不可であるとする情報及び走行の障害となる物体が存在するために車線変更が不可であるとする情報を含み、

前記制御部は、前記車線変更の可否を判定可能とする情報に基づいて、前記影響車両が前記退避車線への車線変更が不可である場合であっても、車線変更が不可の理由が走行の障害となる物体が存在する場合に該当しなければ、前記影響車両を前記退避車線へ車線変更する請求項 2 記載の運転支援装置。

【請求項 4】

前記緊急車両、及び前記緊急車両以外の一般車両の位置に関する情報を特定する位置特定部と、

前記位置特定部が特定した前記緊急車両及び前記一般車両の前記位置に関する情報に基づき、前記一般車両の中から前記影響車両を特定する影響車両特定部と、をさらに備える、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項記載の運転支援装置。

【請求項 5】

記憶部に記憶された地図データを、車両の運転を支援する運転支援機能を有する制御部に参照させる参照機能を実現させるプログラムであって、

前記地図データは、車線を構成する第 1 の区間をあらわした第 1 の区間情報と、第 1 の区間の幅方向に隣接する車線を構成する第 2 の区間をあらわした第 2 の区間情報と、前記

第 1 の区間と前記第 2 の区間の間で車線変更の可否を判定可能とする情報とを有し、

前記参照機能は、前記第 1 の区間情報、前記第 2 の区間情報、及び車線変更を判定可能とする情報を前記制御部に参照させる機能を含み、

前記運転支援機能は、緊急車両の走行に影響する可能性がある影響車両を誘導するように制御するプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の一態様に係る運転支援装置は、車線を構成する第 1 の区間をあらわした第 1 の区間情報と、第 1 の区間の幅方向に隣接する車線を構成する第 2 の区間をあらわした第 2 の区間情報と、第 1 の区間と第 2 の区間の間で車線変更の可否を判定可能とする情報とを有する地図データを参照し、緊急車両の走行に影響する可能性がある影響車両を誘導するように制御する制御部を有する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

制御部は、車線変更の可否を判定可能とする情報に基づいて、緊急車両の走行に影響しない第 2 の区間を含む退避車線への車線変更が可能である場合に、影響車両を退避車線へ車線変更する。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

車線変更の可否を判定可能とする情報は、法律的に規制されているために車線変更が不可であるとする情報及び走行の障害となる物体が存在するために車線変更が不可であるとする情報を含み、制御部は、車線変更の可否を判定可能とする情報に基づいて、影響車両が退避車線への車線変更が不可である場合であっても、車線変更が不可の理由が走行の障害となる物体が存在する場合に該当しなければ、影響車両を退避車線へ車線変更する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記運転支援装置は、緊急車両、及び緊急車両以外の一般車両の位置に関する情報を特定する位置特定部と、位置特定部が特定した緊急車両及び一般車両の位置に関する情報に基づき、一般車両の中から影響車両を特定する影響車両特定部と、をさらに備える。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 【 0 0 0 9 】

憶部に記憶された地図データを、車両の運転を支援する運転支援機能を有する制御部に参照させる参照機能を実現させるプログラムを提供する。このプログラムは、地図データは、車線を構成する第1の区間をあらわした第1の区間情報と、第1の区間の幅方向に隣接する車線を構成する第2の区間をあらわした第2の区間情報と、第1の区間と第2の区間の間で車線変更の可否を判定可能とする情報とを有し、参照機能は、第1の区間情報、第2の区間情報、及び車線変更を判定可能とする情報を制御部に参照させる機能を含み、運転支援機能は、緊急車両の走行に影響する可能性がある影響車両を誘導するように制御する。

## 【 手続補正 7 】

【 補正対象書類名 】 明細書

【 補正対象項目名 】 0 0 1 0

【 補正方法 】 削除

【 補正の内容 】